

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習参加部隊・実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

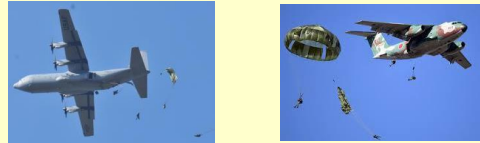
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信
- 重要施設等防護（基地警備等）



※ 演習前後の期間において、陸上自衛隊の大型回転翼機が高知空港を利用して離着陸訓練を実施します。

高知県内で実施を検討している訓練内容 統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、四国沖で実施される共同統合対艦戦闘等に連携して行われます。

本訓練に参加するため、陸上自衛隊の電磁戦部隊が、陸上自衛隊高知駐屯地に機動展開し、電波状況の確認等を実施します。なお、本訓練では実際に電波を発射する可能性はありますが、住民の皆様の生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】令和8年10月22日（木）～10月29日（木）※前後約1週間の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊陸上総隊：約10名（車両（NEWSを含む。）×3両）

訓練予定場所
(高知県)



展開する主要装備品



陸上自衛隊 NEWS※

※ NEWS: Network Electric warfare System (ネットワーク電子戦システム) 電波の収集等を実施

高知県内で実施を検討している訓練内容 統合後方補給（輸送・補給/衛生/その他）

高知県高知新港に係留している海上自衛隊の補給艦に対し、呉基地から油槽船により海上輸送した燃料及び食料品を搭載する訓練を実施します。本訓練は呉地方隊の後方支援能力の維持・向上する訓練であり、災害時においてもこの様な能力の発揮が求められます。

【期 間】令和8年10月16日（金）～17日（土）うち訓練1日（※訓練計画は細部調整中）

【参加部隊】海上自衛隊：補給艦（とわだ）×1、油槽船×1



訓練イメージ



油槽船



補給艦



補給艦に油槽船を横付
補給艦へ燃料搭載



油槽船に冷凍コンテナ搭載
補給艦へ生糧品搭載